

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援とらこや		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日	～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日	～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様な職種で連携しており、様々なことに柔軟に対応できる	・カンファレンスを定期的に行い評価・情報共有を行っている ・振り返りシートを活用したフィードバックを行っている ・他医療機関や並行園や行政と連携し情報共有を行っている	勉強会の拡充 研修会への参加機会の拡充 研修会を開催し、関係機関と顔の見える関係を作っていく
2	定期的に評価を行い児へのアプローチや療育をしている	事業所内での支援等による主観的な評価だけでなく、標準化された検査や資料を活用した客観的な評価も行っている 外部アドバイザーによる指導を受け取り入れている	研修会の開催や参加を行う
3	聴こえる子と聴こえない子などに合わせた寄り添った療育を行っている	その子その子に合った手作り教材を用いて、視覚的な支援等を行っている 朝の会・帰りの会をタイプ別で行っている	教材の種類を増やし、質も上げていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体をすべて同じペースで活動するのが難しい 集団活動に困難さがある	障害の種別が多く年齢も様々で同一の部屋で受け入れている	大きな集団(10名程度)で生活しながらもタイプなどで活動を分ける
2	子供の動きによって危うくなってしまう場面がある	障害の種別が多く年齢も様々で同一の部屋で受け入れている	サークルの活用などで活動スペースを分ける 特性を理解し、落ち着いて活動しやすい環境の整備を徹底していく
3	ほぼ送迎を行っていない (グループの園と事業所間のみ)	受け入れ地区の範囲が多い(3市、他県にわたる) 重度の子も多く安全の確保が難しい	利用者の理解を求める 保護者送迎に対し天候不良時等、車の誘導や受け入れの協力をしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援とらこや					令和7年 3月 13日	公表日	日
		利用児童数			28	回収数		25
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・屋内外で串いすの練習が出来そう ・部屋も広く中庭などもあり十分に確保されていると思う ・教室も広く十分なスペースが確保されていると思う 	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	84%			16%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が何人か分かりにくいのでわからない ・セラピストの名前や顔が分からない ・常に目の届くように職員がいてくれると思います ・たくさん先生の先生たちがいて安心できています 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	92%			8%	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性のある生活空間になっていると思う 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96%			4%	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせた空間になっている ・清潔に感じるし遊ぶスペースも十分あると思う ・いつもキレイにされていて子供たちが過ごしやすい空間になっています 	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%			8%	<ul style="list-style-type: none"> ・こどものやりたい事を尊重してくれている ・PT、OTなど専門の職員がいるので安心してます 	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・そう思う 	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談をしてもらっている ・計画について説明してもらっている ・定期的にモニタリングをして計画立てているので満足している 	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%			8%	<ul style="list-style-type: none"> ・そう思う ・無理なく近い将来達成できそうな目標を計画してもらっています 	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつでも成長しているので支援が合っていると思う 	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88%			12%	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートを見ると毎日色々な事に挑戦しているなど感じます ・毎日いろいろ楽しそうです（ノートより） ・その時々をモニタリングで話して作っているのが工夫されていると思う ・保育園や学童との交流をよく聞くので満足している 	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	72%		4%	24%		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり丁寧に説明してもらっている ・ありました 	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングでしっかり話を聞いてもらっているのだからわかりやすく説明されています 	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	76%	4%		20%	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や情報提供を認識しおこなっているかも ・トレーニングとは何か分からない ・参観日やイベントなどもよく作ってもらえるので満足しています 	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に担当の先生と話をすることで共通理解出来ていると思う ・送迎時に毎日話ができるので安心しています ・毎日その日あったことお伝えしてもらえてるので共有できています 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92%			8%	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングで定期的に面談にのってくださり助かっています ・面談や保護者同士で会う機会を作ってもらえていると思う 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・出来た事は褒めてもらい、出来ない事は課題として対策等教えてもらい支援してもらっている ・そう思う 	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	88%		4%	8%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流があるので助かっています ・他のお母さんとなかなか話すことが出来なかつたけど、保護者参観で話す機会を設けてもらえた 	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%			8%	<ul style="list-style-type: none"> ・相談に対し迅速に対応してくれている ・相談するといつもすぐに対応してもらえて助かっている ・毎日職員とのやり取りがあるので、気になることなど相談できてるので助かっている 		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				・そう思う	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	96%			4%	・事業所の掲示板をよく見えています	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96%			4%	・何かに載せる時は一言声を掛けたりしてくれるので安心してしています	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	88%	4%		8%	・そう思う	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	96%			4%	・避難訓練を行ったことを伝えてもらえている ・災害伝言ダイヤルを使った訓練が良かった ・何度か訓練があったので安心してしています	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%			8%	・そう思う	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92%	4%		4%	・小さなことでも説明してくれるので安心してしています	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				・少しずつですが色々できるようになって有り難い ・不安な様子立く毎回落ち着いて通えている ・今までこれといったケガもなく帰ってきてるので安心してしています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	96%	4%			・迎えの時に楽しそうに戻ってくるので、楽しく過ごせていると思う ・笑顔で通所しているので楽しんでいると思います ・毎朝「行く！行く！」といっているのが楽しみにしています ・そう思う	
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%	4%			・子どもの事をよく見て頂き支援して頂いて感謝している ・いつもありがとうございます ・満足しています ・大満足です、いつもありがとうございます	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 とらこや		公表日		令和7年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・片付けを工夫し広さが確保できている ・お部屋のほかに遊戯室等の広いスペースもあるので利用している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	91%	9%		・大人の目が足りないと感じる時がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・ロビーやトイレ、仮など写真付きになっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・適宜消毒などを行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	91%	9%		・ケルケルするのための場所などが限られていると感じる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	73%	27%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・勉強会を開催・参加している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・個別のプログラムが共有されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・都度共有されている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・家族の考えなどもわかりやすく、家での様子や事業所での様子もわかりやすい		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			・振り返りシートを活用している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			・振り返りとして毎日記録を行っている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			・外部の見学を受け入れている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			・保育園の先生が訪問し話し合いをしている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	64%	36%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%			・保育園と一緒に外遊びをすることがある
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			・送迎時に話をしている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			・研修はしていないが情報共有は行っている
46	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			・面談の時間を設けている

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		・きょうだい同士の共有は行っていない	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・活動が新聞に載ったり、掲示物として発信もしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	45%	55%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・更新時には情報共有し確認している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・委員会を設け議事録も回覧し共有している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%				